

授業概要

経営学の歴史を知り、基本的な考え方を習得することを目標にしたい。経営学は資本主義の発達と変化の中で学問として確立してきた。時代背景を理解した上で、経営学の変遷を知るように授業を進めていきたい。また、会社は一つの組織であり、組織の中での自己実現の可能性をどう考えるかを、授業を通して考えていきたい。経営学は、経済学とは異なり、理論的な論争よりも現実への対応と問題解決のための発想が重要となる。この点を踏まえて講義したい。

授業計画

第1回	資本主義の発達と経営学
第2回	テイラーの科学的管理法の背景
第3回	テイラーの科学的管理法
第4回	メイヨーの人間関係論の背景
第5回	メイヨーの人間関係論
第6回	マックス・ウェーバーの資本主義の精神
第7回	マックス・ウェーバーの支配の正統性
第8回	復習
第9回	所有と経営の分離の時代
第10回	バーリ=ミーンズ=所有と経営
第11回	チャンドラーの戦略論
第12回	ガルブレイスの資本主義像
第13回	ドラッカーのマネジメント
第14回	サイモンの経営者像
第15回	復習
第16回	

到達目標

資本主義経済の発達と変化の時代背景を知った上で経営学の主要な学説を基本的点で理解すること。

履修上の注意

ノートを中心として学習すること。

予習復習

経済経営関係のニュースに関心を深めること。

評価方法

定期試験・中間試験・レポートによる。定期試験 60%、中間試験 30%、レポート 10%の配点とする。ただし変更する場合もある。

テキスト

ノートと授業中の資料を中心とする。必要な本は適宜授業中に指示する。